

当国際交流センター(旧：財団法人岡谷市国際交流協会)は、岡谷市役所内1階に設置されており、担当課は企画課になりますが、事業等に関しては、すべて当センターで行っています。その中で、在住外国人支援事業として、児童生徒等の学校支援と生活支援のための日本語教室を実施しています。

(1)外国人の児童生徒等に対する日本語教育について

市教育委員会より依頼を受け、平成18年9月から在住ブラジル人児童生徒支援臨時職員1名、ボランティア1名を配置し支援スタート、現在では、ブラジル人、フィリピン人、中国人児童支援のための臨時職員4名を4小学校に派遣しています

支援内容：支援員の日本語能力もさまざまですが、教員ではなく、あくまでも支援員として、できる範囲でお願いしている。週1回、学校へ行き、授業を母国語で通訳、指導、また、保護者への通訳・翻訳等

問題点：担任の先生が支援員に子供を任せっきりになってしまう

学校の予定、子供の欠席等連絡をくれない

支援する子供の学年が分かれている場合の授業の組み立てなど

(例えば、各学年国語などの通訳が必要な授業を重ならないように配慮する)

(2)地域の日本語教室について

当センターの日本語教室は平成4年の発足当時からの事業であり、平成17年に学習者が増えた事をきっかけに在住外国人支援の重点事業として力を入れて来ました。

- ※ 日本語教室は無料で、年間を通じ、春～夏、秋～冬、冬から春と3つに区切り、それぞれ10回ずつ開催しています。毎週月曜日の夜と水曜日の昼間の2クラスがあり、夜は、昼間働いている方や研修生が中心に集まり、昼間は主婦の方や夜勤明けなどの方で、日常会話コースとなっています。目的は、生活支援をテーマに、年に1回開催される養成講座で勉強したことなどを活用していただき、生活に役立つ日常会話を各ボランティア講師に考えていただいております。

地域の日本語教室は月300円、「日本語ボランティア教室 ふれあい」(場所：おかや総合福祉センター・諏訪湖ハイツ)があります。お互い連携し合い、日本語能力試験の勉強を希望する場合や休日しか通えない学習者には紹介しております。